

★ガス透過性メカニズム、ガスバリア性評価、バリアフィルム作製法と各種用途の最新技術動向まで詳細解説！

バリアフィルム作製の基礎と ガス透過性メカニズム・評価技術および最新技術動向

◆日時：2025年9月25日(木) 10:30~16:30

【アーカイブ配信：9/29~10/3】

◆受講料：1名につき55,000円(税込、資料付)

※LIVE・アーカイブいずれかの料金です

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**49,500円**
- ・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円)**
- ・ライブ配信視聴、アーカイブ配信視聴いずれも受講料は同じです。
- ・両方視聴される場合は、1名につき55,000円、2名同時申込で66,000円です。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】※講師のご略歴は弊社HPでご確認下さい。

ソメイテック 代表 大菌 剣吾 氏

<資格等> 技術士(金属、機械部門)、一級機械保全技能士、応用情報技術者

<学協会> 日本技術士会(金属部会幹事)、加飾技術研究会(理事)

【受講対象】

・バリアフィルムの開発・評価・製造・利用に関わる技術者

【習得知識】

- ・バリアフィルムの基本とガス透過性メカニズムを理解できる
- ・ガスバリア性の評価技術を理解できる
- ・バリアフィルム設計・製造のポイントを学ぶことができる
- ・各種用途の最新のバリアフィルムの技術動向を把握できる

【講座の趣旨】

バリアフィルムは、食品等の包装材料から、産業用パッケージ、電子部品の保護など、様々な分野で活用されています。バリア性を発現させる技術としては、バリア性高分子材料、アルミ蒸着、透明セラミック膜、有機無機ハイブリッドなど、様々な方式が用いられています。

バリアフィルムの作製には、各種基材、コーティング、フィルムハンドリングなどの技術的な理解が必要となります。また、ガス透過のメカニズムと、ガスバリア測定技術を理解しておくことも大変重要です。さらに、近年ではバリア性だけでなく各種機能の複合化が進み、各種特性、信頼性の確保、量産性など、技術的な要求が高まっています。

本講座では、バリアフィルムの技術に関わる方を対象として、バリアフィルムの概要、ガス透過性のメカニズム、ガスバリア性の評価、バリアフィルム作製について分かりやすく解説します。またバリアフィルムの各種用途の最新技術動向について紹介します。バリアフィルムに関わる技術者が押さえておくべき知識を身につけることができます。

【プログラム】※詳細内容はホームページでご確認下さい。

1. バリアフィルムの基本とガス透過性メカニズム

- 1-1. バリアフィルムの用途と市場
- 1-2. バリアフィルムの種類
- 1-3. ガス透過のメカニズムとパラメータ

2. ガスバリア性の評価技術

- 2-1. 差圧法(圧力センサー法)の原理と測定方法
- 2-2. Mocon等圧法の原理と測定方法
 - (1) 酸素電解センサー法
 - (2) 赤外センサー法
 - (3) 五酸化二リンセンサー法
- 2-3. 各種等圧法の原理と測定方法
 - (1) API質量分析法
 - (2) Lyssy法(感湿センサー法)
 - (3) カップ法
 - (4) カルシウム腐食法
- 2-4. ガスバリア性測定の精度・信頼性向上のポイント

3. バリアフィルム作製のポイント

- 3-1. バリアフィルム作製の要素技術
 - (3) ドライブプロセス(真空蒸着、スパッタリング、CVD)
- 3-2. バリアフィルム製造のポイント
 - (1) バリアフィルムの設計(要求機能、基材と層構成、工程、品質保証)
 - (2) バリアフィルムの品質(バリア性能、光学特性、外観、信頼性、巻き品質)
 - (3) バリアフィルムの生産性(リードタイム、コスト、稼働率)
- 3-3. 複合機能フィルムとしてのバリアフィルム開発のポイント

4. バリア技術の用途別最新技術動向

- 4-1. パッケージ(レトルト・パウチ、医薬・医療用、モノマテリアル・リサイクル)
- 4-2. ディスプレイ(有機EL、マイクロLED、フレキシブルディスプレイ)
- 4-3. 電子部品(ペロブスカイト太陽電池、半導体工程フィルム、IC封止・保護)

【WEBセミナーとは?】

- ・本講座は「Zoom」を使ったWEBセミナーです。視聴方法は「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Webブラウザから参加するかの2種類がございます。Zoom 接続テストの手順(<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
- ・タブレットやスマートフォンでも受講可能ですが、機能が制限される場合があります。
- ・お申込み後は、弊社よりお申し込み内容確認メールをお送りします。
- ・LIVE配信を受講される方には、Zoom視聴URLとセミナーの資料(PDF)をメールでお送りします。開始時間の10分前にご参加下さい。
- ・アーカイブ配信を受講される方は、ライブ配信数日後にセミナー資料と動画視聴URLをメールでお送りします。期間内は何度でも視聴可能です。

『バリアフィルム』WEBセミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒LIVE アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。		<input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送	

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。上記のLIVEかアーカイブにチェックを入れて下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>
個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>